

宅用太陽光発電設備、家庭用燃料電池システム（エネファーム）、定置用リチウムイオン蓄電システムに加え、太陽熱・地中熱利用システムなどの省エネルギー設備への設置費用の助成に努めます。



◆農林行政

米政策については、引き続き、需要に応じた生産を推進するため、飼料用米等を作付けする農業者を支援するなど、茂原市地域農業再生協議会をはじめ、関係機関と連携し、食料自給力向上に向けた施策の推進を図ります。

◆農業経営基盤強化促進事業の推進

地域で抱える「人と農地の問題」を解決するため、中心となる経営体や新規就農者の確保、農地集積等のあり方を定めた「人・農地プラン」を、地域ごとに具体的に策定できるように支援します。

今後は、本市農業委員会と連携し、農地中間管理機構を活用するなど、担い手への農地集積・集約化を進め、併せて「茂原市農業振興地域整備計画」の見直しについても進めます。

◆有害鳥獣駆除事業

効果的な対策を実施するため、鳥獣被害防止対策に係る地域協議会の設立を進め、引き続き、民間の警備会社と連携し、生態系の調査や遠隔監視による捕獲に加え、長生郡市猟友会の銃器による捕獲を実施し、体制の強化を図り、農作物の被害が無くなるよう努めます。

◆農業基盤整備事業

災害を未然に防止するため、総貯水量5千トン以上の「ため池群」を対象に、決壊防止と洪水調整機能の向上のため、堤体改修等の整備に向けた調査を行います。

また、清水地区の農耕地等の湛水被害を防止するため、調査を実施し、計画を策定し、早期の事業化を目指します。さらに、「総合戦略」に掲げる施策として、国の平成28年度第2次補正予算により創

設された「地方創生拠点整備交付金」を活用した、「農産物直売所を起点とした魅力ある農業創出事業」を進めます。

◆企業誘致の推進

本市の産業経済の振興、就業機会の拡大および市民生活の向上とともに、財源確保を図るための重要な施策であり、私も先頭に立ち、取り組みます。

◆茂原には工業団地

平成29年度中の分譲開始に向けて調整池工事、雨水・汚水排水工事などが急ピッチで進められています。多くの企業に立地していただけるよう、県と連携を図りながら事業の推進に努めます。



▲上空から見た茂原には工業団地

・街路事業費 3429万円
・バス輸送の整備

・地域公共交通事業（路線バス運行補助金、市民バス、デマンド交通運行事業等） 3081万円

資源の有効利用の推進

・住宅用省エネルギー設備等促進事業（うち家庭用燃料電池システム設置者への上乘せ補助分150万円） 845万円

進対策390万円） 1584万円

・農産物直売所を起点とした魅力ある農業創出事業（新農産物直売所の外構工事等） 2260万円

新たな企業・産業の導入

・茂原市総合戦略推進事業（うちドローン活用調査業務委託料・ドローン技術の利活用を目的としたセミナー等の開催200万円） 757万円

産業振興

生産基盤の整備

・用排水施設整備事業 4769万円
・用排水施設維持管理費 4727万円

商業基盤の整備

・農村地域防災減災事業（調査設計業務委託料のうち、ため池整備事業分1660万円） 2200万円

・中小企業者等振興総合支援事業（うち外国人観光客受入環境整備支援補助金・WiFi環境整備やメニューの多言語化等への補助90万円） 633万円

農用地の保全

・有害鳥獣駆除事業 1925万円

・中小企業資金融資事業（利用者への一部補助、融資預託） 5億4829万円

農業経営の改善

・需給調整推進事業（茂原市飼料用米等拡大支援事業補助金のうち、新規需要米推

観光推進体制の整備

・観光振興事業（茂原七夕まつり実行委員会補助金、茂原市観光協会補助金等） 1747万円